

OutDoor by ISPO 2024

ファイナルレポート

国際スポーツ用品専門見本市

2024年6月3日～5日

2024年6月6日

サステナビリティが業界を牽引する時代に即した

新しいオファー・フォーマット・ターゲットグループに基づく2025年ビジョンを紹介

Summary

- 5,000 平米を超える屋外エリア、3 ホールの展示エリアに「Think Outdoor」というスローガンのもと業界関係者が集合
- 2025年の焦点は、持続可能性とアウトドア業界の未来
- Sustainability Hub と Panel Talks が盛況



Facts & Data

| | |
|-------------------|---|
| 会期 | 2024年6月3日(月)～5日(水) 9時～18時(最終日 17時) |
| 会場 | メッセ・ミュンヘン |
| 主催 | メッセ・ミュンヘン (Messe München GmbH) |
| 規模 | (2023年 35,000 m ²) |
| 出展企業数 | 80カ国から 600社 (2023年度 30カ国から 661社) |
| 来場者数 | 90カ国から 8,000人 (2023年度 88カ国から 9,000人) |
| 主な出展品 | 登山、トレッキング・ハイキング、キャンプ・旅行、ウォーキング・ハイキング、バイクスポーツ、サーフィン・ウォータースポーツ、パラグライダー、乗馬、釣り、狩猟、屋外フィットネス、ヨガ、スポーツウェア、機能性ファブリック 各種用品、用具など |
| 併催プログラム | Innovation Lab、Sustainability Hub Guided Tour、ISPO Award、ISPO Textrends Spring/Summer 2026 material trend directions and winners など |
| 出展日本企業 (現法出展など含む) | 昌和莫大小(株)、新富士パーナー(株)、タケヤ化学工業(株)、帝人フロンティア(株)、野村貿易(株)、(株)V&A JAPAN、(株)mesutta、ヤマチューン(株)、(株)YOLO、YKK(株) 他 |
| 専用 URL | www.ispo.com/en/outdoor (英語、ドイツ語) |

3つのホール、5,000平方メートルを超える屋外スペース、3つのハブ、そして3つのステージに、600社以上が出展した OutDoor by ISPO 2024 は、アウトドア業界が直面する様々な課題を抱えながらも、その継続的開催の重要性を明確に示した。2024年6月3日から6月5日まで、メッセ・ミュンヘンの見本市会場に、「Think Outdoor」としたスローガンのもと、世界中のアウトドア関連企業が一堂に会した。

8,000人を超える業界関係者が、この見本市を活用して、国際的ネットワークを構築し、業界の現況やトレンド、最新の技術・製品について学んだ。また、OutDoor by ISPO の2025年以降のビジョンが発表された。そして、ISPO Awardに加えて、EOFT's 21st Century Adventurer Award が授与された。

今年の表彰テーマは、「サステナビリティとアウトドア業界の将来」とされた。このことについては、バイエルン州大臣の Michaela Kaniber 氏、冒険家の Joey Kelly 氏、登山家の Thomas Huber 氏、トレイルランナーの Kimi Schreiber 氏などの名高い講演者やアスリート達の皆が講演の中で言及した。



80カ国以上から600社を超える企業が出展し、約90カ国から8,000人を超える来場者を迎えた OutDoor by ISPO 2024 は、成功裏に閉幕した。特に経済的に厳しい時期にあって、この見本市は、ビジネス上重要な洞察を得るための、時間的にもコスト面からも効率的な方法として、業界にとって非常に重要な位置付けにあることが再確認された。

OutDoor by ISPO は、最高のアウトドア製品とイノベーションを1カ所に集めることに留まらず、アイデアを共有し、環境に優しい変革に向けた共同の解決策を見出すプラットフォームとしても機能する。

メッセ・ミュンヘンの CEO シュテファン・ルンメルは、「サステナブル・ビジネス活動と環境・気候保護プロジェクトは、メッセ・ミュンヘンにとって重要な戦略課題であり、今年の OutDoor by ISPO で、サステナビリティが特段のテーマとして取り上げられたことを特に嬉しく思う。アウトドア・コミュニティは、スポーツ業界におけるサステナビリティ・トランスフォーメーションの原動力となっている。Sustainability Hub や厳選されたカンファレンス・プログラムなどの提供を通して、あらゆるレベルでの活発な交流を促進し、企業のような部門や意思決定レベルの関係者にアイデアを交換する機会を提供している。そして、製品の枠を超えた幅広いプラットフォームとして、OutDoor by ISPO を更に発展させることが、ビジョン 2025 以降の我々の行動規範である」と述べている。

サステナビリティに注力

サステナビリティ分野のパイオニアである VAUDE 社の協力のもと、見本市への来場者は、この分野における最新のイノベーションとトレンドについて学び、Sustainability Hub や Green Stage で催された専門家によるプレゼンテーションに積極的に参加することができた。VAUDE 社の Jenz Nothaft 氏は、「サステナビリティは当社の DNA の中で最も重要な位置にあって、この理念は文書化している。OutDoor by ISPO は、我々にとって、アウトドア・コミュニティと共にサステナビリティ課題を推進する上で、格好のプラットフォームである」と総括する。Sustainability Hub と Panel Talks では、多くの来場者が、今年特に関心を寄せたテーマ、例えば、「EU グリーンディールがアウトドア企業に与える影響」、「循環型経済と二酸化炭素排出削減の成功戦略」、「新しいエコ・コンシューマーの購買行動」などが取り上げられた。

OutDoor by ISPO の創設パートナーである European Outdoor Group の事務総長 Arne Strate 氏は、「厳しい時代だからこそ、アウトドア業界は結束してきた長い歴史があり、OutDoor by ISPO はそのための重要なプラットフォームである。この見本市は、ヨーロッパ中の同業者が一堂に会し、ビジネスやネットワークを構築する絶好の機会だ。



パートナーのメッセ・ミュンヘンと共同で、今年も来場者向けに充実したプログラムを用意した。特に、Sustainability Hub では、見本市の性格の変化を反映した多種多様なコンテンツを提供し、好評を博した。そして、今年の見本市には、OutDoor by ISPO の次の段階に向けたエキサイティングな新コンセプトを発表することができた。このことは我々の業界で常に高く評価されてきたイベントにとって重要な進展を意味する」と語る。

魅力的製品と ISPO Awards

OutDoor by ISPO では、今年も例年どおり、アウトドア業界が提供する最も魅力的な製品とソリューションが紹介された。ここでも、サステナビリティが中心的な役割を果たしている。業界全体として、製品の寿命を延ばすべく設計された、より丈夫な繊維を使用したリサイクル繊維や天然繊維の方向へ発展を続けており、製品の修理性もますます重視されている。イノベーションはアウトドア業界の重要な推進力であり、高機能を備えた新製品開発への需要は衰えることなく続いている。

今年も、権威ある ISPO Award の受賞者が OutDoor by ISPO で公式に発表され、ISPO Award エリアに展示された。受賞者には、交換可能なインソールを持つ非常に軽量のトレイル・ランニング・シューズの新ブランド NNormal、折りたたみ式自転車用ヘルメットの Ventete ブランド、アウトドアでコーヒーが楽しめるチューブ入りコーヒーを商品化した No Normal Coffee といった若いブランドが含まれている。

講演、交流、ネットワーキング

サステナビリティについては、アウトドア・コミュニティに留まらず政治家も熱心に議論している。例えば、バイエルン州の食料・農業・林業・観光大臣 Michaela Kaniber 氏は、『レジャーツーリズムと自然保護』という物議を醸すようなテーマによるパネルディスカッションの一環として、Green Stage で講演している。OutDoor by ISPO の多面的なサポート・プログラムには、プロの登山家で人権活動家の Nasim Eshqi 氏、トレイル・ランナーの Kimi Schreiber 氏、フィットネス・コーチの Chase Tucker 氏などのアスリートによる講演も含まれていた。また、クライミングとウォーター・スポーツの体験コーナーやトレイル・ランニングのテストトラックでは、来場者はスポーツや新製品を試したり、体験したりすることができた。

起業家でマラソンランナーの Marcel Münster と、元オリンピック選手で Eliud Kipchoge などの有名ランナーのマネージャー Jos Hermens 氏は、OutDoor by ISPO で、2025 年に新しいワールドワイドのランニング・リーグを設立すると発表した。

この Global Running League は、この種のものとしては初めてのもので、人々にランニングを奨励することを目的としている。トップ・アスリートたちが各自それぞれの活動ストーリーを共有したり、インタラクティブなレース体験やイベントを開催したり、世界中のランナーが互いにアイデアを交換したりと、様々なアイデアを生かすことができるプラットフォームとして機能する。



OutDoor by ISPO は、屋外エリアなしでは成り立たない。

とりわけ、世界的に有名な EOFT Film Tour と International Ocean Film Tour の協力を得て企画された OutDoor Cinema には、多くの来場者が詰めかけた。そして、EOFT の 21st Century Adventurer Award が、OutDoor by ISPO で初めて授与された。

今年で 4 年目となるこの賞は、肉体的にも精神的にも新たな課題に進んで立ち向かい、その過程で忘れられない瞬間を経験したアスリートを称えるもの。今年、イランの元キックボクシング・チャンピオンで、現在も更なる飛躍を目指して闘う Nasim Eshqi 氏が受賞した。彼は、アルピニストの Simone Moro 氏に勝利したプロの登山家でもあり、航海士で気候変動活動家の Boris Herrmann 氏をしのご活躍をも見せている。また、見本市の初日に開催された定評のある OutDoor by ISPO パーティーは、出展者と来場者がお互いを知り、アイデアを共有し、ネットワークを築く上での理想的な場を提供した。

来年とその後を見据えて

来年、メッセ・ミュンヘンのキャンパスはもっと広いスペースが用意され、OutDoor by ISPO を更に魅力的なものにする多くの機会が提供される。国際的なアウトドア産業の需要に応えるために、2025 年には、研究開発、デザイン、サステナビリティ、物流、サプライチェーン・マネジメント、人材などのビジネス分野が追加され、そのプラットフォームも提供される。サーキュラーツーリズム、アーバンアウトドア、デジタル化とテクノロジー、リサイクル、循環型経済などの追加セグメントも、来年の OutDoor by ISPO で取り上げられる予定。見本市の主体を成す展示エリアは、レイアウトが一新され、1 列目への配置の選択肢が増えるほか、予算に応じた参加の機会やフォーマットが更に増える。そのパッケージとレイアウトの改訂版は、10 月初旬までに完成する予定。メッセ・ミュンヘン消費財担当エグゼクティブ・ディレクターのトビアス・グレーバーは「現在の市場状況を踏まえて、我々は既に貿易および産業界の主要な関係者との話し合いに入っている。来年は、新しいレイアウト、新たなフォーマットとオファーでイベントの効率をさらに高め、最大の国際アウトドア見本市として、新たに魅力的なターゲットグループを加え、来場者にイベントを探索・体験してもらいたいと考えている」と、今年 of OutDoor by ISPO を前向きに総括し、来年に向けて積極的な熱意を示した。来年の「OutDoor by ISPO 2025」は、よりエキサイティングな見本市として期待される。

次回 OutDoor by ISPO は、2025 年 5 月 19 日から 21 日まで、メッセ・ミュンヘンの見本市会場で開催される。

資料請求、出展申込み、各種お問い合わせ先:

メッセ・ミュンヘン 日本代表部

株式会社メッセ・ミュンヘン・ジャパン

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 3-20-3 ノアーズアーク虎ノ門 5 階

Tel.: 03-6402-4583 Fax: 03-6402-4584 E-mail: info@messe-muenchen.jp

URL: www.messe-muenchen.jp (日本語) www.messe-muenchen.de (英語 / ドイツ語)